

事業の概要	事業の目的	B/C (費用対効果)
事業区間：新潟市江南区茅野山IC～秋葉区北潟交差点 延長：L=4.8km 種級区分：第3種第1級（設計速度60km/h） 計画交通量：約26,900台/日 事業費：約197億円 事業期間：令和8年度～	一般国道403号は、本市が目指す多核連携型の都市構造において、都心から放射状に広がる国道の一つとして、第二次緊急輸送道路に指定され、重要な道路ネットワークとしての機能を果たしているとともに、周辺の工業団地と国際拠点港湾である新潟港とを結ぶ物流軸を構築する重要な幹線道路である。 ⇒新潟東港へのアクセス機能の強化や、国道8号、49号などの周辺広域道路の渋滞解消を目的として、当該区間の拡幅整備を行う。	1.3

計画図、イメージ画像等

事業の必要性

- 一般国道403号（本事業区間L=4.8km）は国道49号茅野山IC～秋葉区北潟交差点間において、暫定2車線又は暫定3車線の供用となっており、周辺の土地利用の変化、道路ネットワーク整備等により当該区間に交通が集中し慢性的な渋滞が発生している。
- さらに今後、現在事業中の新潟中央環状道路が接続することでさらなる渋滞が懸念されることから、当該区間の完成4車線拡幅事業を行うことで交通負荷の軽減を図る。
- 一般国道403号や新潟中央環状道路沿線には工業団地が複数立地しており、本事業の実施により、主要渋滞箇所を含む渋滞の解消や、道路ネットワークの強化が見込まれることにより、沿線企業の円滑な物流、経済活動の支援、新たな工業団地の造成、企業誘致等への寄与が期待される。
- 新潟県は新潟東港の利用促進のため、令和15年度末までに現在のコンテナ取扱量を1.8倍とする計画であり、コンテナターミナルの拡張や機能強化を実施している。
- 新潟中央環状道路の整備と一体的に本事業を実施することにより周辺の工業団地、新潟港を含めた各物流拠点同士の安定的な物流機能の確保や県内外への輸送の速達性向上を図ることが期待される。

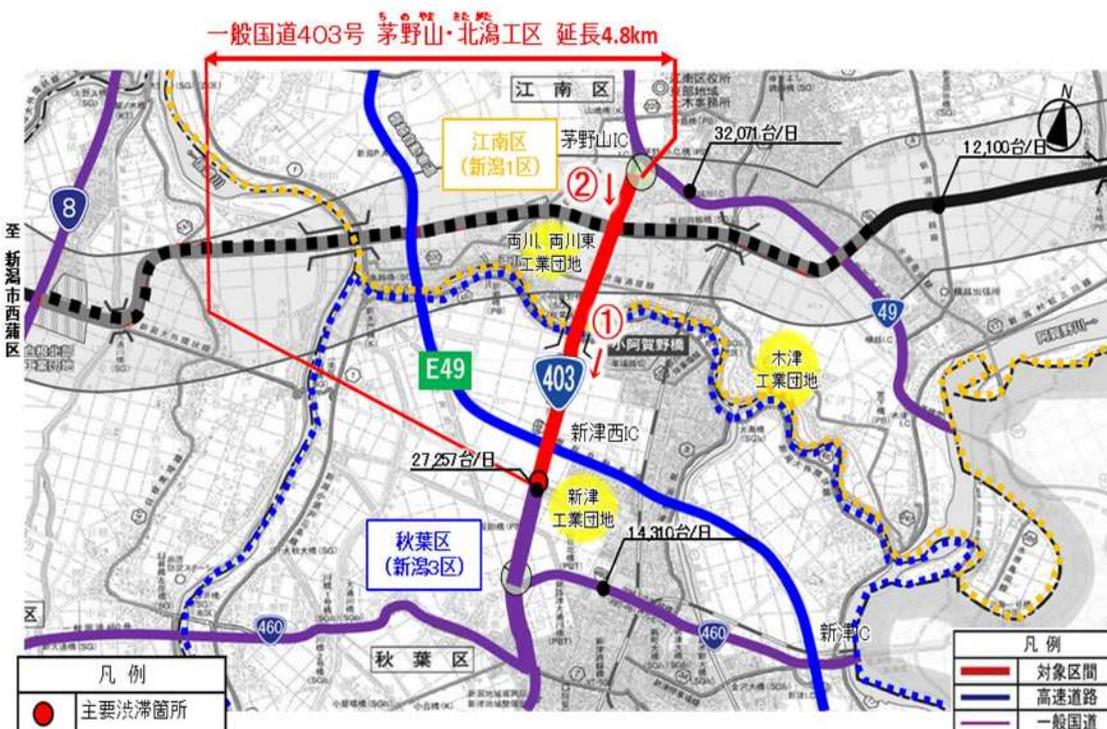
平面図



新潟中央環状道路との交差点部



一般国道403号の渋滞状況



【評価】	妥当
------	----